ハードウェア・ソフトウェアに関する重要事項

本製品をご使用になる前に、以下の内容をご確認ください。

■ メモリについて

- 本製品には DDR4 SO-DIMM メモリスロットを 2 基搭載しています。
- 標準構成では 16GB メモリ×1 枚を搭載しており、1 スロットを使用、1 スロットが空きとなっています。
- メモリは 最大 64GB まで増設可能です。
- メモリを交換・増設する場合は、本製品に対応する規格をご確認のうえ、適合するメモリをご使用ください。
- すべての市販メモリについて動作を保証するものではありません。

■ ストレージについて

- 本製品には M.2 2280 SSD 用スロットを 1 基搭載しています。
- 標準構成では 256GB M.2 SSD を搭載しています。
- M.2 ストレージは NVMe（PCIe）／SATA（NGFF）に対応しています。
- 別途、2.5 インチ HDD／SSD を増設可能です。
- ストレージの交換・増設を行う場合は、対応規格・取付方法をご確認ください。

■ 映像出力について

- 本体の外部映像出力端子は HDMI 2.0×1、VGA×1 です。
- 接続するディスプレイ、ケーブル、OS、ドライバー等の組み合わせにより、使用可能な解像度や表示機能が異なる場合があります。
- 本体筐体から外部に露出していないマザーボード上の映像端子は、通常の外部接続用端子として使用できません。

■ OS・ソフトウェアについて

- 標準搭載 OS：Windows 11 Pro
- 本製品のハードウェアは Windows 10／Windows IoT／Linux での使用を想定した構成を含みますが、OS のバージョンやディストリビューション、ドライバーの対応状況によっては、一部の機能・デバイスが正常に動作しない場合があります。
- OS を変更して使用する場合は、LAN、Wi-Fi、Bluetooth、タッチパネル、オーディオ等、必要なデバイスのドライバー対応状況を事前にご確認ください。
- お客様ご自身による OS の変更、ソフトウェアのインストール、ドライバーの変更等に起因する不具合については、保証対象外となる場合があります。

【重要】

メモリ・SSD 等の交換や増設、OS の変更を行う場合は、事前に本説明書の各項目をご確認ください。
また、部品交換・増設作業を行う際は、必ず本体の電源を切り、AC アダプターおよび外部機器を取り外してから作業してください。

15.6型産業用タッチパネルPC
ファンレスタイプ
品番A15

説 明 書・保 証 書

Ⓡ 003-200209

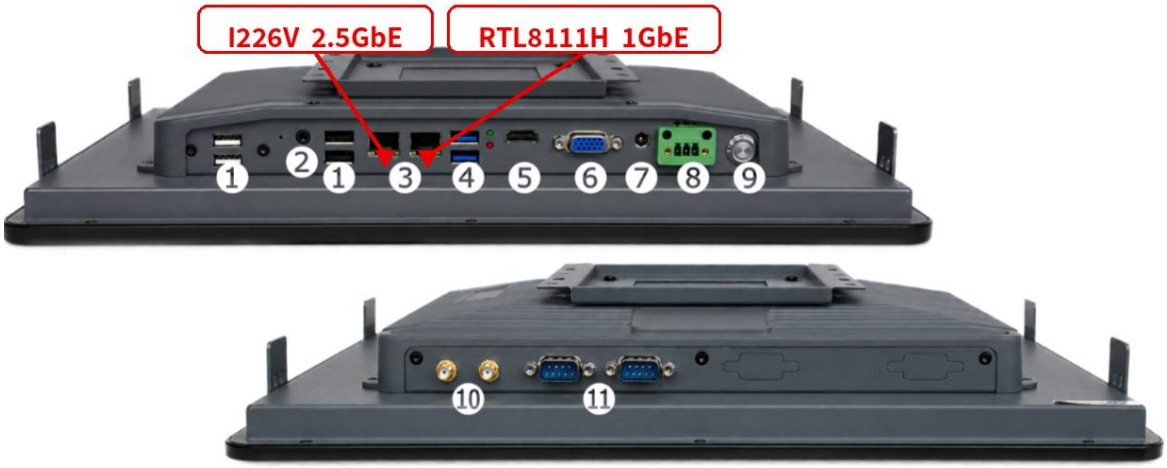
Ⓣ D200188003

販売元 ： 株式会社真善美 （カブシキガイシャ シンゼンビ）
連絡先 ： 〒369-0113 埼玉県鴻巣市下忍 3852-1
TEL ： 048-577-6612 FAX：048-577-6613
営業時間： 9：00～18：00（土日祝日、弊社休日を除く）
電話応対時間：9:00～12:00 13:00～17:00
E-mail ： service@shinzenbi.jp
※土日祝日のお問合せにつきましては翌営業日のご回答になりますのであらかじめご了承ください。

パソコン仕様

型番		A15
商品名		15.6型産業用タッチパネルPC ファンレスタイプ
OS		Windows 11 pro (対応OS：Windows 10、Windows IoT、Linux)
プロセッサ	プロセッサ	Intel® Pentium 7505
	コア数・スレッド数	2コア4スレッド
	ベース動作周波数	2.00 GHz
	ターボ・ブースト	最大 3.50 GHz
	キャッシュ	4MB Intel® Smart Cache
	TDP	15W
	プロセスルール	10 nm SuperFin
グラフィックス	グラフィックス	Intel® UHD Graphics
	ビデオメモリ	メインメモリ共有
メモリ		SO-DIMM DDR4スロット×2（標準搭載：16GBメモリ×1。1スロット使用、1スロット空き。最大64GB）
ストレージ		M.2 2280 (SATA/NVME) 256GB 2.5インチ HDD/SSD増設可能
映像出力		HDMI 2.0x1、VGA x1
有線 LAN		RJ45×2：Intel I226V 2.5GbE×1（10/100/1000/2500BASE-T）、 Realtek RTL8111H 1GbE×1（10/100/1000BASE-T）
無線LAN (Wi-Fi)		Wi-Fi 6E (802.11ax)
Bluetooth		Bluetooth 5.4
USB インターフェース		USB2.0 x4、USB3.0 x2
オーディオ		Realtek ALC 897
インターフェース		RS232 x2(最大4ポート、全ポートRS485切替可能)、USB2.0 x4、USB3.0 x2、 LAN x 2、HDMI 2.0x1、VGA x1、音声入出力 x 1、DC 端子 x1、3ピン12V～ 24V 電源入力フェニックス端子x1
ACアダプター		入力 100V-240V 出力 DC12V/7A
本体サイズ		約391 x 276 x 52.3 mm
本体重量		約3.5kg
消費電力		約15W(TDP)/最大84W
梱包内容		パソコン本体、ACアダプター、3ピンフェニックス端子変換アダプター、壁掛け用ネジ×4、埋込取付金具×4、長ネジ×4、ワッシャー×4
適用温度範囲		-10℃ - 60℃
適用湿度範囲		0% - 95%rh
保証		1年間

端子説明



①USB 2.0ポート
キーボード、マウス、USBメモリー、および各種周辺機器を接続できます。

②オーディオ端子
音声出力またはマイク入力に使用します。

③LANポート（RJ45×2）
本製品を液晶画面が下向きになるように置き、端子面を正面から見た場合：
左側：Intel I226V（2.5GbE、10/100/1000/2500BASE-T）
右側：Realtek RTL8111H（1GbE、10/100/1000BASE-T）
ネットワーク接続や産業用カメラの接続に使用します。

④USB 3.0ポート
用途に応じて、各種周辺機器を接続できます。

⑤HDMI 2.0ポート
ディスプレイを接続します。

⑥VGAポート
ディスプレイを接続します。

⑦DC電源ジャック（丸型）
電源アダプターを接続します。

⑧フェニックス端子（電源入力端子）
DC 12～24Vのワイドレンジ電源を接続します。

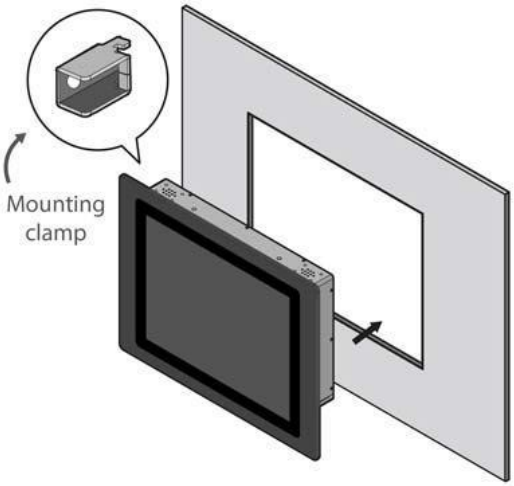
⑨電源ボタン
本製品の電源をオン／オフします。

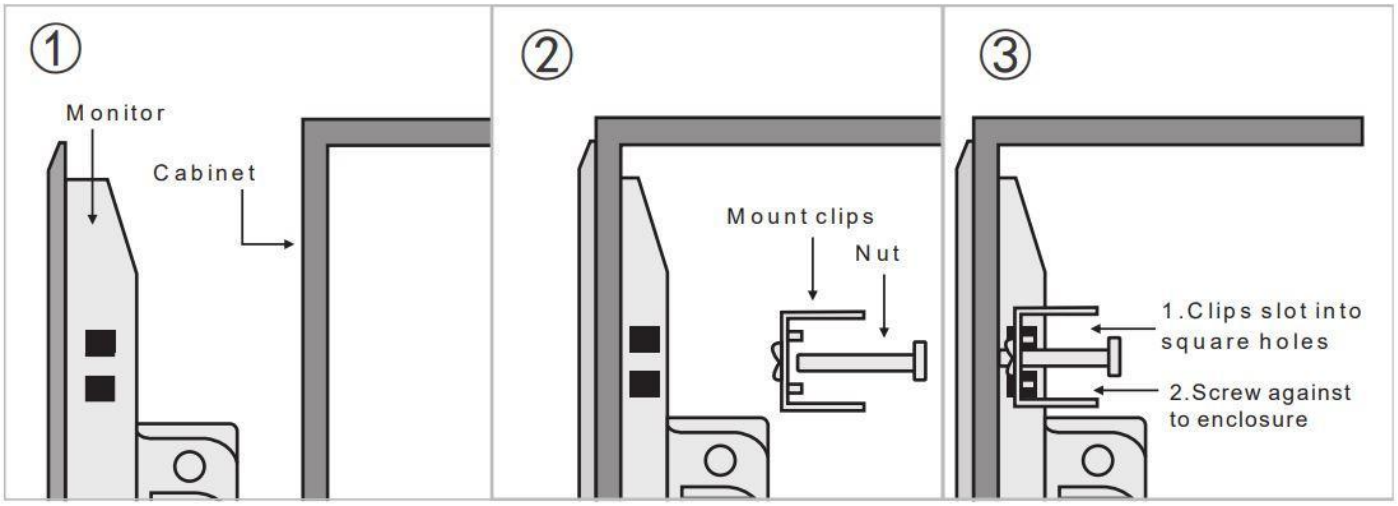
⑩Wi-Fiアンテナ端子
Wi-Fiアンテナを接続します。

⑪COMポート（シリアルポート、出荷時の初期設定はすべてRS-232C仕様になっています。）
温湿度センサーなどの各種外部機器を接続できます。

付属のネジおよび端子に関する説明

1. 本機の付属品袋には4セットのパーツ（下図参照）が同梱されており、これらはパネルマウント（埋込型）取り付け用のネジです。主に本機の左右両側を、サーバーラックや機材ラックのガイドレールに固定するために使用します。





2. 本機の付属品袋には、10cm VESAマウント（ベサマウント）への取り付け用ネジが4セット（下図参照）同梱されています。

3. 本機には工場出荷時に10cm VESA拡張マウントが取り付けられており、お客様のVESAマウント（アーム）にそのままワンタッチで装着（ワンタッチ固定）できるようになっています。なお、本マウントが不要な場合は、下図の赤枠内にある4箇所のネジを取り外すことで取り外すことが可能です。

本機のCAD寸法データ（一式）につきましては、弊社のSkynew公式サイトの該当商品ページよりダウンロードしていただけます。

4. 本機の付属品袋には、12V～24Vの広入力電圧に対応した3ピンフェニックス端子変換アダプターが同梱されています。本機の端子に接続して変換することで、配線作業をスムーズに行うことができます（下図参照）。

注意：取付作業の前に必ず本体の電源を切り、ACアダプターを抜いてください。ネジを締めすぎると、本体や取付金具を破損するおそれがあります。

5. 下記のQRコードを読み取ると、取り付け方法を動画でご確認いただけます。

BIOS設定説明

◆ 重要：ウォッチドッグタイマー（WDT）機能について

Watchdog を有効にした場合、OS または監視アプリケーション側で、設定時間内に WDT を定期的にキック（カウンタクリア）する処理が必須です。キック処理が行われない場合、WDT がタイムアウトして PC は再起動します。OS 起動後もキック処理が開始されない場合、再起動を繰り返します。

◆ BIOS 画面の起動方法

PC の電源投入直後から <DEL> キーを繰り返し押下し、BIOS セットアップユーティリティを起動します。Bluetooth キーボードや無線キーボードでは、POST 中のキー入力を認識できない場合があります。その場合は有線 USB キーボードを使用してください。

◆ ブートデバイス選択メニューの表示方法

PC の電源投入直後から <F7> キーを繰り返し押下すると、ブートデバイス選択メニューを表示できます。使用する SSD、USB メモリ、LAN などの起動デバイスを選択し、Enter キーで起動します。

◆ 復電時（AC 電源復帰時）に自動起動する設定方法

BIOS セットアップユーティリティ → <OEM_Set> → <PWRON After Power Loss> を選択し、設定値を <Always On> に変更します。復電時の自動起動を無効にする場合は <Always Off> を選択してください。

設定後、<F4> キーを押し、Save configuration and exit? の確認画面で <Yes> を選択してください。PC は設定を保存して再起動します。

◆ RTC アラームによるスケジュール起動の設定方法

BIOS セットアップユーティリティ → <OEM_Set> → <Wake System from S5 via RTC> を選択し、<Enabled> に変更します。これにより、S5（シャットダウン）状態から指定時刻に自動起動できます。

RTC Alarm Date(Days) は <EveryDay> を選択します。続いて Wake Up Hour は 0～23、Wake Up Minute と Wake Up Second は 0～59 の範囲で設定します。例：13:30:00 に起動する場合は、Hour=13、Minute=30、Second=0 に設定します。

設定後、<F4> キーを押し、確認画面で <Yes> を選択して保存してください。

◆ Wake-on-LAN（WoL）の設定方法

BIOS セットアップユーティリティ → <Advanced> → <ACPI Settings> → <Resume By Onboard LAN> を選択し、<Enabled> に変更します。内蔵 LAN からの Wake-on-LAN を使用しない場合は <Disabled> に変更してください。

WoL を使用する場合は、LAN ケーブルの接続、待機電源の供給状態、OS 側のネットワークアダプター設定、および送信側の Magic Packet 設定を確認してください。

◆ ネットワークブート（PXE）の設定方法

BIOS セットアップユーティリティ → <Advanced> → <Network Stack Configuration> を開き、<Network Stack> を <Enabled> にします。必要に応じて <IPv4 PXE Support> または <IPv6 PXE Support> を <Enabled> に変更し、PXE ブートを有効化します。

PXE ブートを使用しない場合は、該当する PXE Support を <Disabled> に戻してください。設定後は <F4> → <Yes> で保存します。

◆ ウォッチドッグタイマー（WDT）の設定方法

BIOS セットアップユーティリティ → <Advanced> → <Watchdog Configuration> を開き、<Watch Dog Controller> を <Enabled> に変更します。WDT は、システムまたはアプリケーションのハングアップを検出し、タイムアウト時に PC を再起動させるための機能です。

WatchDog Timer Val は 4〜255 の範囲で設定します。WatchDog Timer Unit は <Second> または <Minute> を選択できます。動画例では、Timer Val=5、Timer Unit=Second に設定しています。

◆ 注意：WDT 有効化前の確認

WDT を有効にする前に、OS 起動後に常駐する監視サービスまたはアプリケーションから、設定時間内に WDT をキック（カウンタクリア）できることを確認してください。キック処理が未実装、停止、または設定時間を超過した場合、PC はタイムアウトごとに再起動します。必ず検証環境で動作確認を行ってから本番運用してください。

◆ 設定保存の共通手順

各設定を変更した後は、<F4> キーを押し、Save configuration and exit? の確認画面で <Yes> を選択して保存します。設定を保存しない場合は <No> または ESC を選択してください。

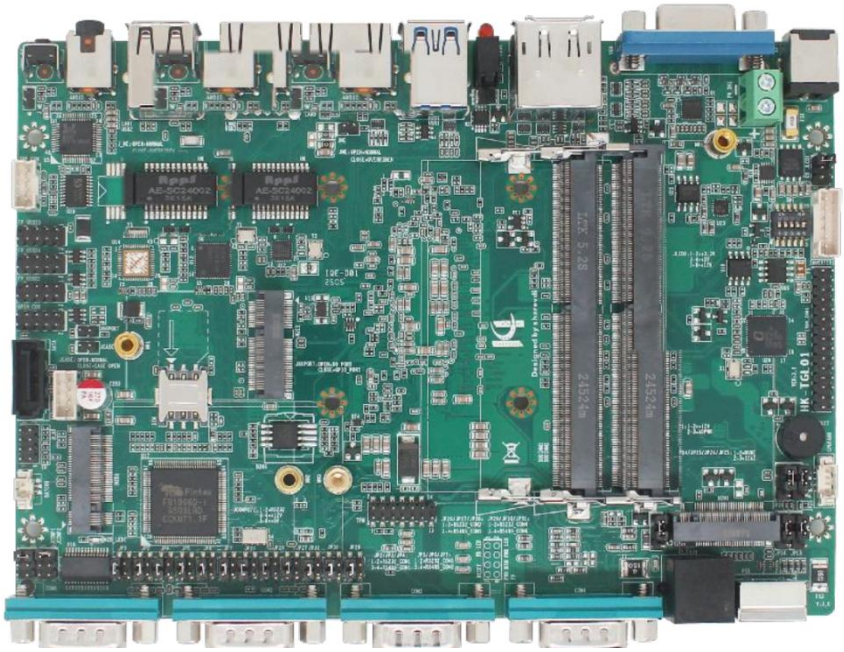
主な操作キー

キー	操作
← / →	画面（Main / Advanced / Boot / OEM_Set / Exit など）を選択
↑ / ↓	項目を選択
Enter	項目を決定、サブメニューを開く
+ / −	選択中の設定値を変更
F4	Save & Exit。保存確認画面で <Yes> を選択
ESC	前の画面へ戻る、または終了

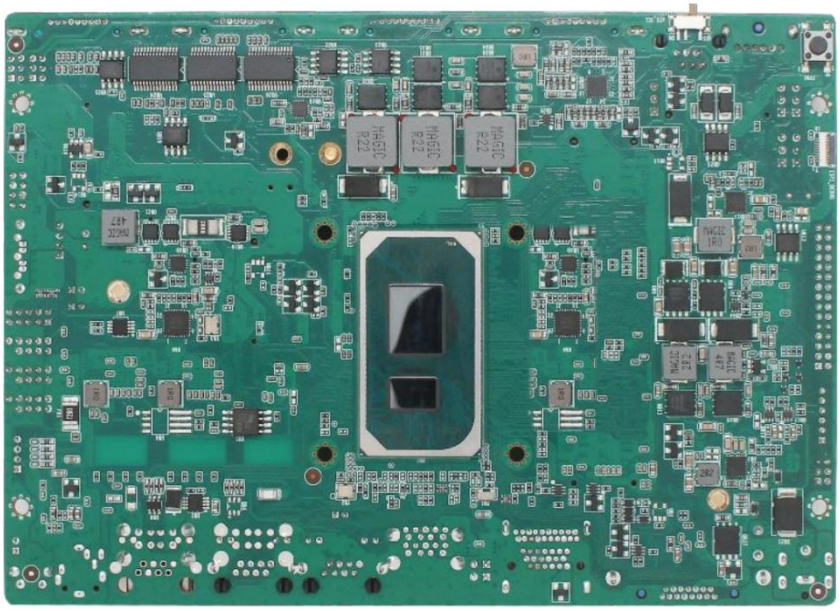
マザーボード写真

（マザーボード上の一部のポートは本体筐体により覆われているため、外部から使用できません。また、本体筐体には、マザーボード上のコネクタから引き出された別の外部ポートが設けられていますので、ご注意ください。）

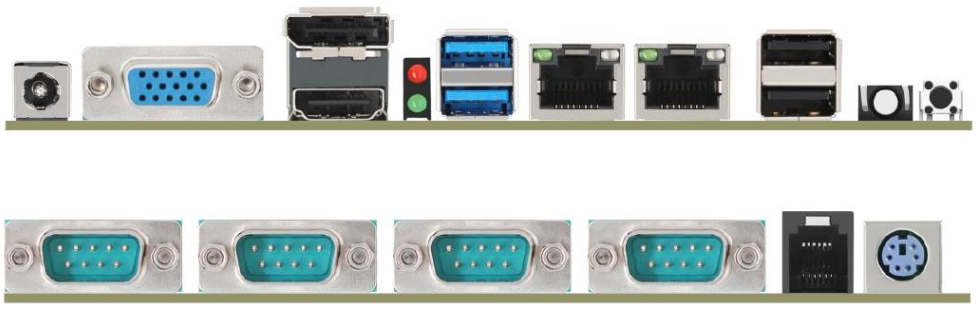
マザーボード表面：



マザーボード裏面：



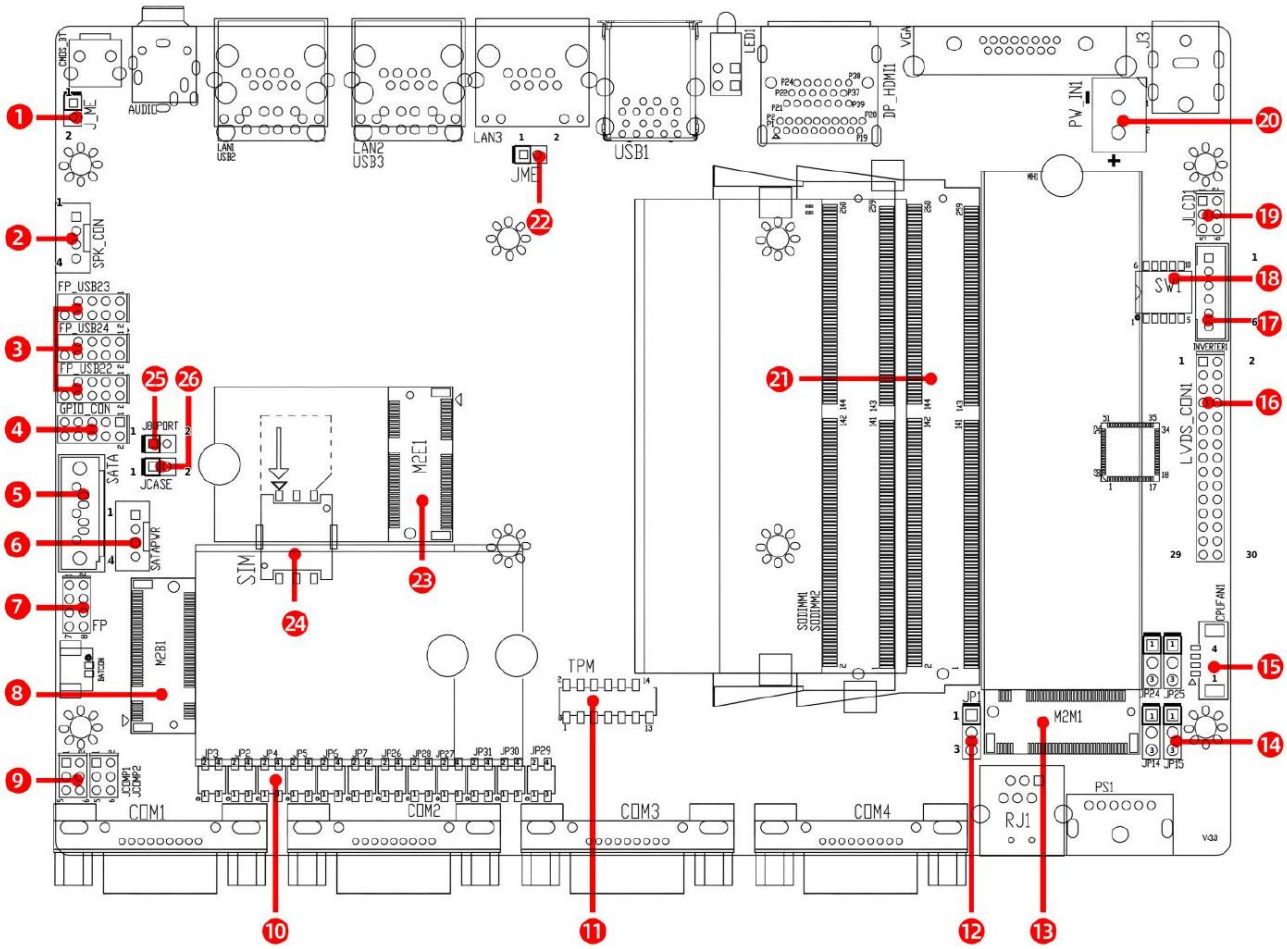
I/Oインターフェース：



マザーボード仕様

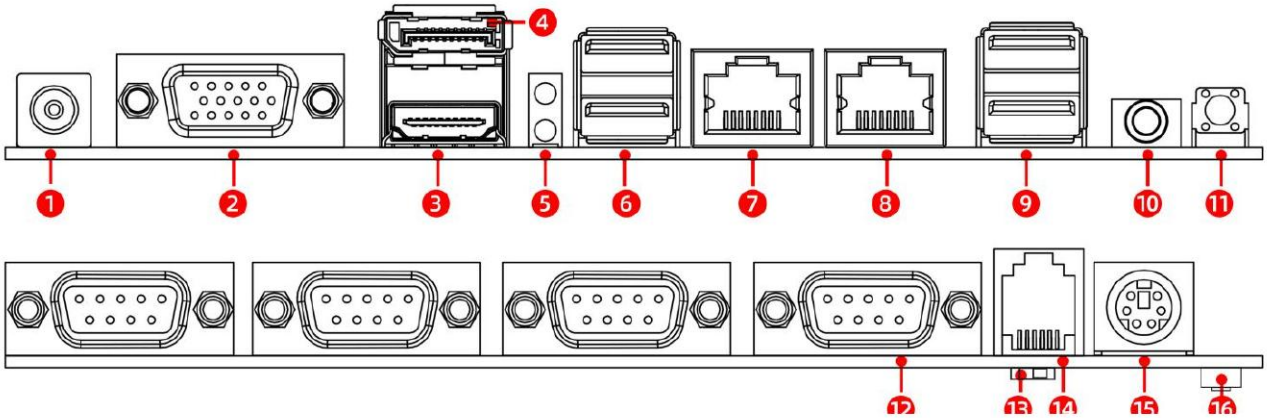
プロセッサ／チップセット	Intel® Pentium 7505
メモリ	DDR4-3200MHzメモリスロット×2、最大64GB対応
ネットワーク	Intel I226V 2.5GbE LANポート×1＋Realtek RTL8111H 1GbE LANポート×1、Wake on LAN／PXE対応 SIM×1
映像出力	HDMI×1 DP×1 VGA×1 LVDS×1
オーディオ	AUDIO×1（ヘッドセット兼用）
ストレージ	M.2（NVMe/NGFF）×1 SATA×1
拡張	M.2 B-Key×1（4G/5G対応） M.2 E-Key×1（Wi-Fi／Bluetooth対応）
USB	USB 3.0ポート×2 USB 2.0ポート×2、FP_USB2.0（2×5Pin）×6
COM	DB9 COM×4（RS232/485対応、COM1-2は給電機能対応）
その他のインターフェース	FP（2×4Pin）×1 GPIO（2×5Pin）×1 TPM（2×7Pin）×1 SPK_CON（1×4Pin）×1 CPUFAN（1×4Pin）×1
ウォッチドッグタイマー	0～255秒、システムリセット
電源仕様	12V入力、フェニックス端子給電
温度	保管温度：-20℃～70℃ 動作温度：0℃～60℃
寸法	170mm×120mm

マザーボードレイアウト



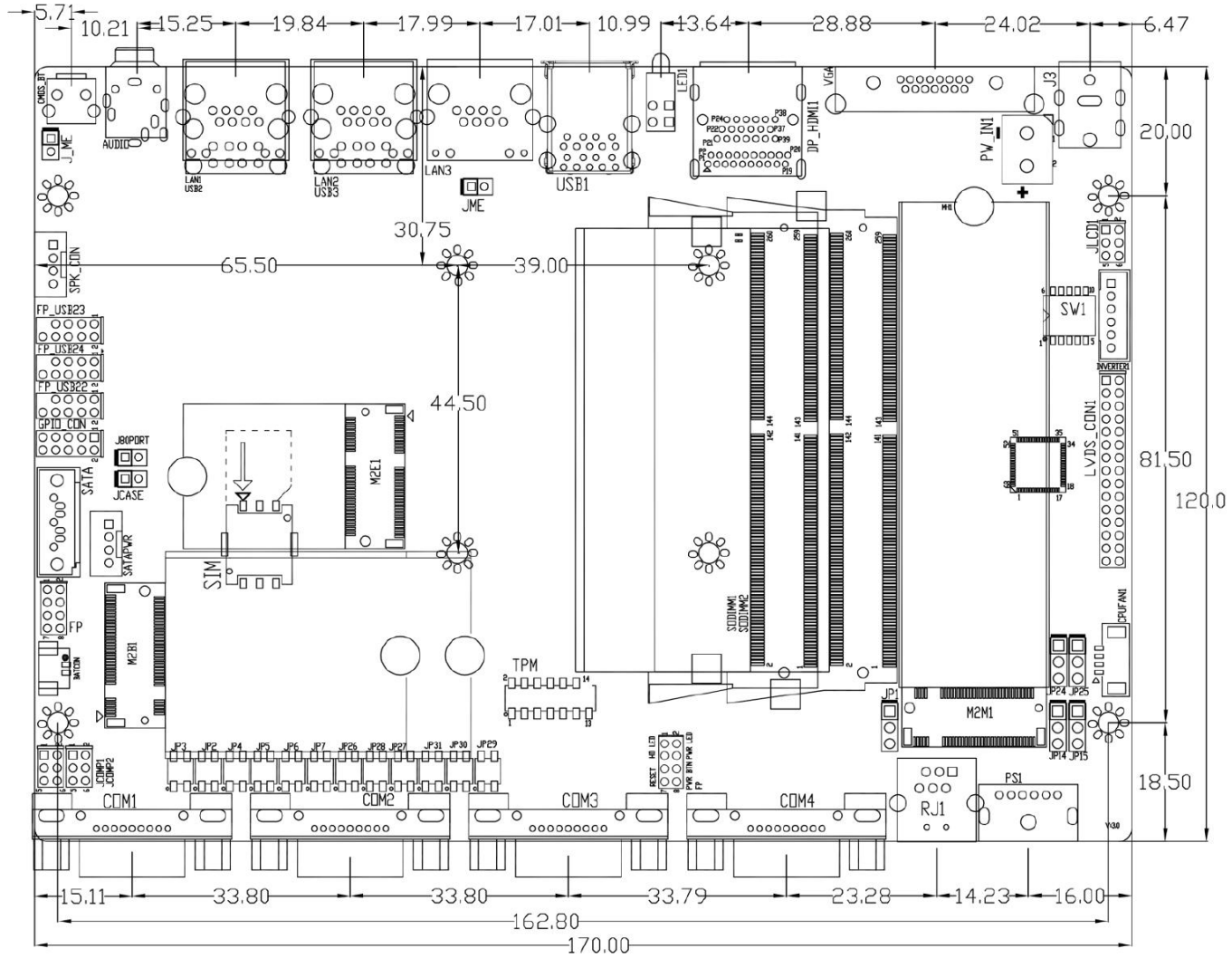
マザーボードレイアウト／インターフェース説明		
1	J_ME	J_ME
2	SPK_CON	スピーカーアンプ端子
3	FP_USB2.0	FP_USB2.0（2×4Pin）×6
4	GPIO	GPIO入出力
5	SATA	ストレージ用SATA端子
6	SATAPWR	SATA電源供給
7	FP	スイッチ
8	M.2B-Key	4G/5G対応
9	JCOMP1-2	COM1-2給電機能ジャンパー設定
10	12×JP3	COM1-4のRS232/485切替ジャンパー
11	TPM	暗号化モジュール端子
12	JP1	RJ11電圧設定
13	M.2M-Key	SSDスロット、NVMe/NGFF対応
14	JP14/15/24/25	M.2 M-KeyのNVMe/NGFF切替ジャンパー
15	CPUFAN	CPUファン端子
16	LVDS_CON	映像出力
17	INVERTER	LVDSパネルバックライト電源端子
18	SW	LVDS解像度設定用GPIO DIPスイッチ
19	JLCD1	LVDSパネル信号電圧設定ジャンパー
20	PW_IN	フェニックス端子
21	SODIMM	DDR4-3200MHzメモリスロット×2、最大64GB対応
22	JME	JME
23	M.2E-Key	Wi-Fi／Bluetooth対応
24	SIM	SIMカードスロット
25	J8OPORT	8OPORT
26	JCASE	JCASE
27	ESPI_DEBUG	eSPIデバッグ端子

I/Oインターフェース

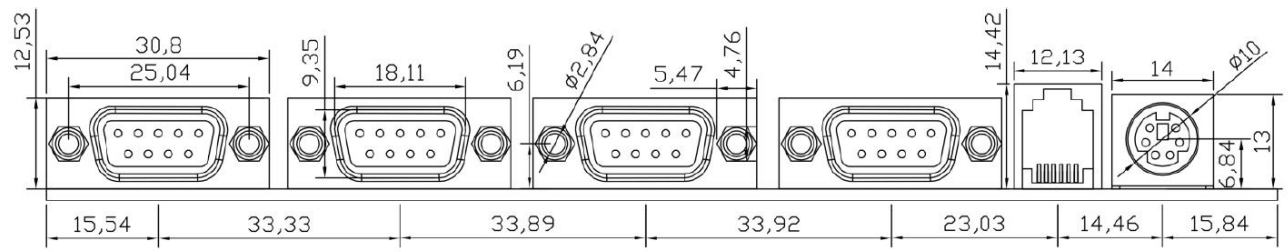


I/Oインターフェース説明		
1	DC_IN	12V電源入力端子
2	VGA	VGA映像出力端子
3	HDMI	HDMI映像出力端子
4	DP	DP映像出力端子
5	LED	LED表示（赤：ストレージ、緑：電源）
6	USB1	USB 3.0ポート×2
7	LAN2	Intel I226V 2.5GbE LANポート（10/100/1000/2500BASE-T、LAN2はUSB3へ変更可能）
8	LAN3	Realtek RTL8111H 1GbE LANポート（10/100/1000BASE-T）
9	USB2.0	USB 2.0ポート×2（USB2はLAN1へ変更可能）
10	AUDIO	標準3.5mmオーディオ端子（ヘッドセット兼用）
11	CMOS_BT	CMOSクリア
12	4×COM	RS232/485対応、COM1-2は給電機能対応
13	ATX_SEL	通電時自動起動
14	RJ11	電話システム標準インターフェース
15	PS1	キーボード／マウス入力端子
16	FPW1	電源ボタン

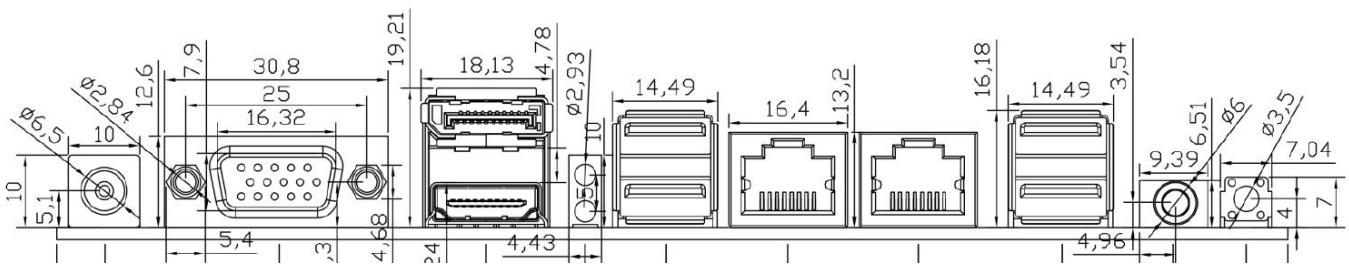
外形寸法



5.71
10.21
15.25
19.84
17.99
17.01
10.99
13.64
28.88
24.02
6.47
20.00
81.50
120.0
18.50
30.75
65.50
39.00
44.50
15.11
33.80
33.80
33.79
23.28
14.23
16.00
162.80
170.00
AUDIO
LAN1
USB2
LAN2
USB3
LAN3
USB1
JME
LED1
DP_HDMI1
VGA
J3
PW_IN1
SPK_CON
FP_USB23
FP_USB24
FP_USB22
GPIO_CON
J80PORT
JCASE
SATA
SATAPWR
FP
M2E1
SIM
M2B1
TPM
SODIMM1
SODIMM2
SW1
LVDS_CON1
JLCD1
CPUFAN1
JP1
M2M1
JP24
JP25
JP14
JP15
JP3
JP2
JP4
JP5
JP6
JP7
JP26
JP28
JP27
JP31
JP30
JP29
COM1
COM2
COM3
COM4
RJ1
PS1



12,53
30,8
25,04
9,35
18,11
6,19
Ø2,84
5,47
4,76
14,42
12,13
14
Ø10
13
6,84
15,54
33,33
33,89
33,92
23,03
14,46
15,84



Ø6,5
Ø2,84
12,6
7,9
30,8
25
16,32
19,21
18,13
4,78
Ø2,93
14,49
16,4
13,2
16,18
14,49
3,54
6,51
Ø6
Ø3,5
9,39
7,04
10
5,1
5,4
4,68
4,43
4,96
7
4

取り付け

安全上のご注意：

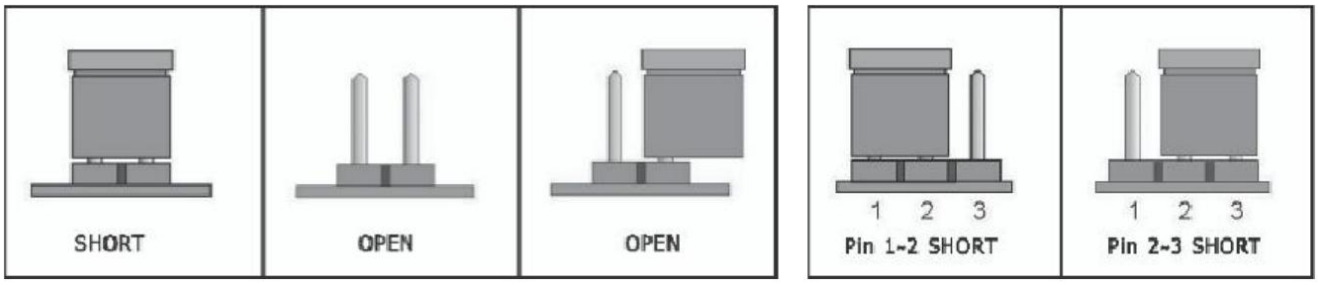
取り付け前に、マザーボード上のシリアル番号や販売代理店の保証シールなどを無断で剥がさないでください。製品保証期間の判定に影響する場合があります。

- マザーボードやその他のハードウェアを取り付け／取り外す前に、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- マザーボードを取り扱う際は、回路の短絡を防ぐため金属接点部に触れないでください。
- マザーボード、CPU、またはメモリを取り扱う際は、静電気防止リストストラップの着用を推奨します。ストラップがない場合は、手が乾いていることを確認し、あらかじめ金属物に触れて静電気を除去してください。
- 取り付け前のマザーボードは、静電気防止マットまたは静電気防止袋の上に置いてください。
- マザーボードの電源コネクタを抜く際は、電源装置がオフになっていることを確認してください。
- ネジがマザーボード上の回路や部品に触れないようにし、破損や故障を防いでください。
- マザーボード上やPCケース内にネジや金属物が残っていないことを確認してください。
- 取り付け作業に不慣れな場合、または本製品の使用中に技術的な問題が発生した場合は、専門技術者にご相談ください。

ジャンパー設定

ジャンパー／コネクタの1番ピンの確認方法：

1. コネクタ付近の表示を確認してください。「1」、太線、△、☑などで示されています。
2. 基板裏面のはんだパッドを確認してください。□形のパッドが1番ピンです。



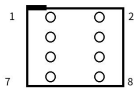
2ピンコネクタ：ジャンパーキャップを両方のピンに装着するとショート状態になります。

3ピンコネクタ：ジャンパーキャップを1-2または2-3に装着するとショート状態になります。

インターフェース定義

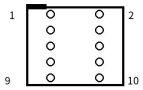
フロントパネル端子：FP

マザーボードには2×4ピンのフロントパネル端子が1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	ピン	定義	ピン	定義
	1	HDDLED+	2	PWRLED+
	3	HDDLED-	4	PWRLED-
	5	RESETBTN#	6	PWRBTN#
	7	GND	8	GND

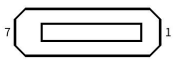
USBヘッダー：FP_USB2.0

マザーボードには2×5ピンのUSBヘッダーが3個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	ピン	定義	ピン	定義
	1	VCC	2	VCC
	3	DO-	4	D1-
	5	DO+	6	D1+
	7	GND	8	GND
	9		10	GND

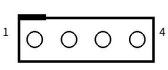
SATA端子：SATA3.0

マザーボードには1×7ピンのSATA端子が1個あります。ピン定義は次のとおりです。

図	ピン	定義	ピン	定義
	1	GND	2	SATA_TXP
	3	SATA_TXN	4	GND
	5	SATA_RXN	6	SATA_RXP
	7	GND		

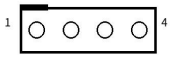
SATA電源端子：SATAPWR

マザーボードには1×4ピンのSATA電源端子が1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	ピン	定義	ピン	定義
	1	+5V	2	GND
	3	GND	4	+12V

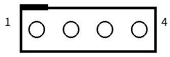
スピーカーアンプ端子：SPK_CON

マザーボードには1×4ピンのスピーカーアンプ端子が1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	ピン	定義	ピン	定義
	1	SPKL-	2	SPKL+
	3	SPKR+	4	SPKR-

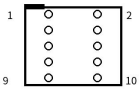
CPUファン端子：CPUFAN

マザーボードには小型1×4ピンのCPUファン端子が1個あります。ピン定義は次のとおりです。

図	ピン	定義	ピン	定義
	1	GND	2	+12V
	3	DET	4	PWR

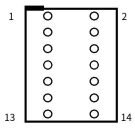
GPIO入出力ヘッダー

マザーボードには2×5ピンのGPIOヘッダーが1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	ピン	定義	ピン	定義
	1	SIO_GPIO80	2	SIO_GPIO81
	3	SIO_GPIO82	4	SIO_GPIO83
	5	SIO_GPIO84	6	SIO_GPIO85
	7	SIO_GPIO86	8	SIO_GPIO87
	9	GND	10	VCC5

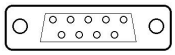
暗号化モジュールヘッダー：TPM

マザーボードには2×7ピンのTPMヘッダーが1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	ピン	定義	ピン	定義
	1	SPI_VCC	2	PIRQA_N
	3	PLTRST-	4	SPI_CS2
	5	SPI_CS1	6	SPI_WP1-
	7	SPI_VCC	8	GND
	9	SPI_CSO_1	10	TPM_SCLK
	11	TPM_MISO	12	TPM_MOSI
	13	SPI_HOLD1	14	

シリアルポート：COM1-4

マザーボードにはDB9 COMポートが4個あります。定義は次のとおりです。

図	ピン	RS232	RS485
	1	DCD	A
	2	RXD	B
	3	TXD	
	4	DTR	
	5	GND	GND
	6	DSR	
	7	RTS	
	8	CTS	
	9	RI	

RS232／RS485切替設定（重要）

工場出荷時は、COM1～COM4の4ポートすべてがRS232に設定されています。各COMポートは、マザーボード上の対応する3組の4ピンジャンパーを切り替えることでRS485へ変更できます。

作業前に必ずパソコンの電源を切り、ACアダプターと外部機器を取り外してください。1つのCOMポートに対応する3組のジャンパーは、必ずすべて同じ位置に設定してください。

COM1：JP2／JP3／JP4

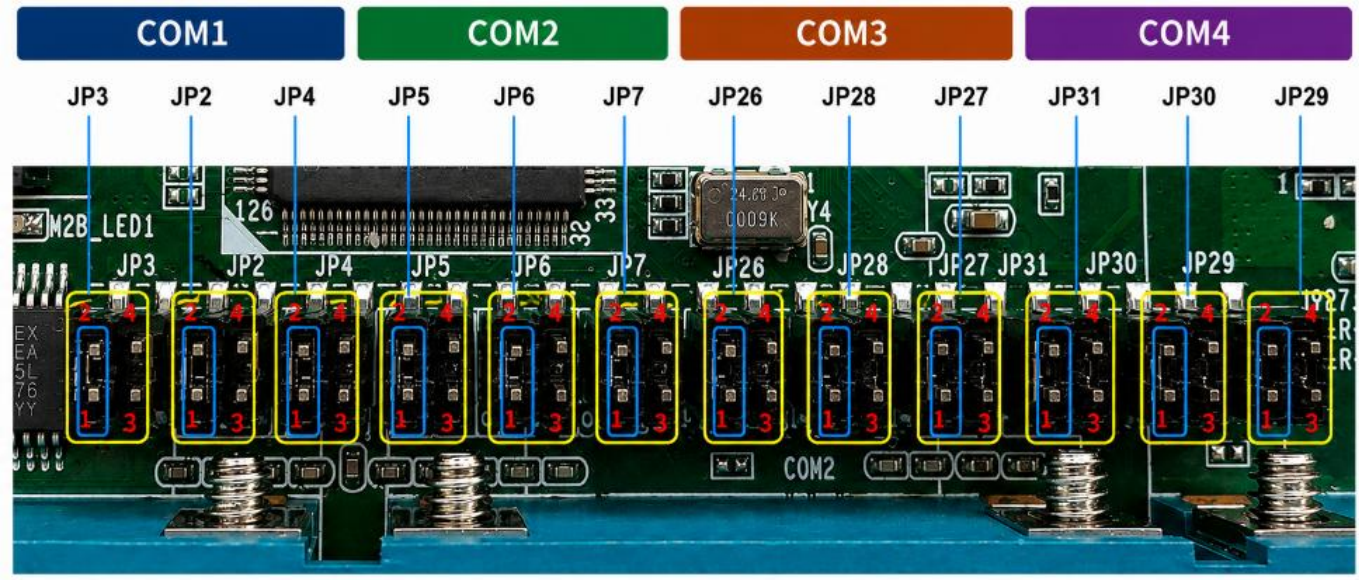
COM2：JP5／JP6／JP7

COM3：JP26／JP27／JP28

COM4：JP29／JP30／JP31

4ピンジャンパーの切替方法

工場出荷時のジャンパー位置（全ポートRS232）



：各ジャンパー（4ピン）　　：工場出荷時設定（RS232）

上段：2・4／下段：1・3　　1-2 ピン側をショート

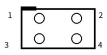
※ RS485 に切り替える場合は、各ジャンパーの 3-4 ピン側をショートしてください。

※ 各 COM ポートの3組のジャンパーは、必ずすべて同じ設定にしてください。

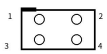
写真では、各ジャンパーキャップが1-2ピン側に装着されています。写真中の各4ピンは、上段左から2・4、下段左から1・3の順で表示しています。基板上のJP番号を確認し、対象ポートの3組すべてを同じ位置にしてください。

各COMポートの設定表

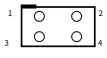
COM1（RS232/485）設定：

図	ジャンパー	RS232	RS485
	JP2	1-2ショート	3-4ショート
	JP3	1-2ショート	3-4ショート
	JP4	1-2ショート	3-4ショート

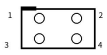
COM2（RS232/485）設定：

図	ジャンパー	RS232	RS485
	JP5	1-2ショート	3-4ショート
	JP6	1-2ショート	3-4ショート
	JP7	1-2ショート	3-4ショート

COM3（RS232/485）設定：

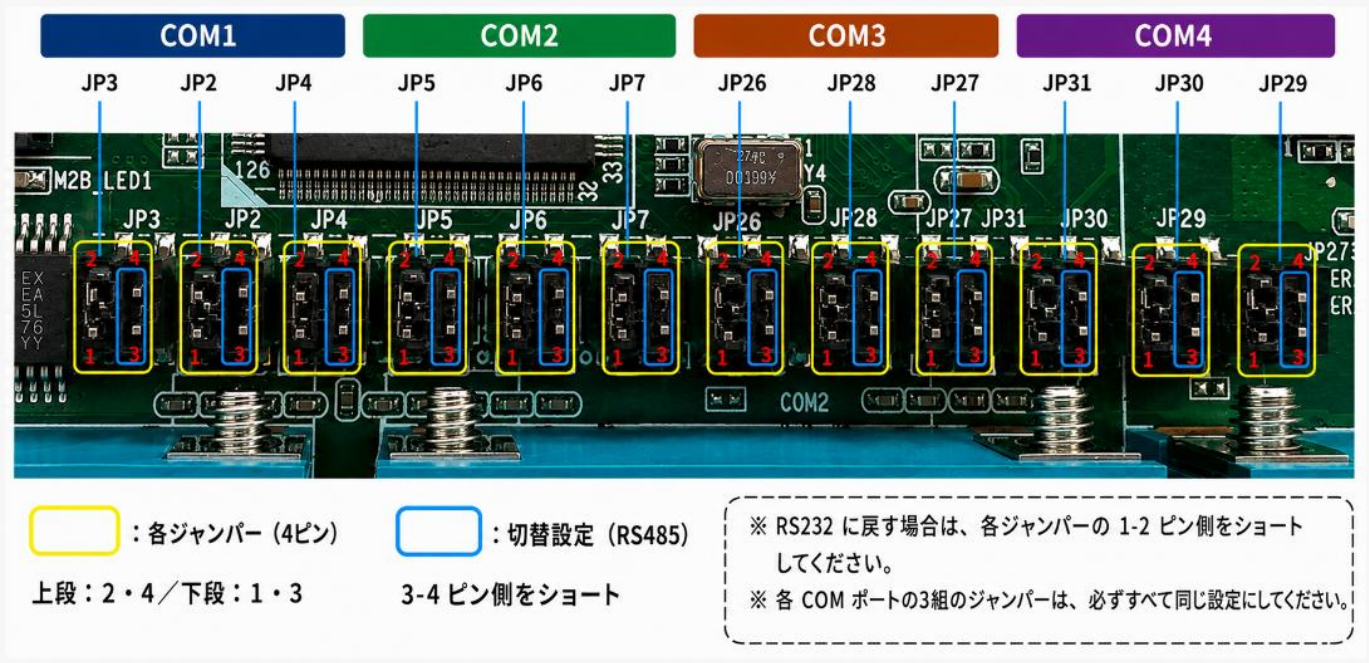
図	ジャンパー	RS232	RS485
	JP26	1-2ショート	3-4ショート
	JP27	1-2ショート	3-4ショート
	JP28	1-2ショート	3-4ショート

COM4（RS232/485）設定：

図	ジャンパー	RS232	RS485
	JP29	1-2ショート	3-4ショート
	JP30	1-2ショート	3-4ショート
	JP31	1-2ショート	3-4ショート

全ポートをRS485に設定した状態

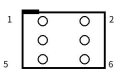
COM1～COM4をRS485で使用する場合は、各ポートに対応する3組のジャンパーキャップをすべて3-4ピン側へ移動します。合計12組の設定を確認してください。



設定後は、ケースを閉じる前にJP2～JP31の対象12組がすべて3-4ピン側になっていることを確認してください。RS232へ戻す場合は、対象3組をすべて1-2ピン側へ戻します。

シリアルポート給電設定：JCOMP1/JCOMP2

マザーボードには2×3ピンのシリアルポート給電設定ジャンパーが2個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	設定	定義
	1-2	RS232
	3-4	+12V
	5-6	+5V

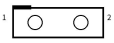
ジャンパー：JP1

マザーボードには1×3ピンのジャンパーが1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	設定	JP1
	1-2ショート	+12V
	2-3ショート	ADPWR

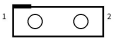
ジャンパー：J_ME

マザーボードには1×2ピンのジャンパーが1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	設定	J_ME
	1-2オープン	NORMAL
	1-2ショート	OVERRIDEN

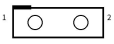
ジャンパー：JME

マザーボードには1×2ピンのジャンパーが1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	設定	JME
	1-2オープン	NORMAL
	1-2ショート	OVERRIDEN

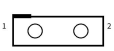
ジャンパー：JCASE

マザーボードには1×2ピンのジャンパーが1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	設定	JCASE
	1-2オープン	NORMAL
	1-2ショート	CASE OPEN

ジャンパー：J80PORT

マザーボードには1×2ピンのジャンパーが1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	設定	J80PORT
	1-2オープン	80 PORT
	1-2ショート	GPIO_PORT

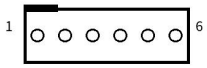
M.2 NVMe/NGFFモード設定：JP14/JP15/JP24/JP25

マザーボードには1×3ピンのM.2モード設定ジャンパーが4個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	ジャンパー	NVMe (PCIe)	NGFF (SATA)
	JP14	1-2ショート	2-3ショート
	JP15	1-2ショート	2-3ショート
	JP24	1-2ショート	2-3ショート
	JP25	1-2ショート	2-3ショート

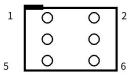
LVDSバックライト電源端子：INVERTER

マザーボードには1×6ピンの電源端子が1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

図	ピン	定義	ピン	定義
	1	GND	2	GND
	3	PWM	4	EN
	5	+12V	6	+12V

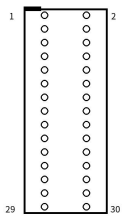
LVDS信号電圧設定：JLCD1

マザーボードには2×3ピンの信号電圧設定ジャンパーが1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。定義は次のとおりです。

ピン配置図	ピン	LVDS信号電圧選択
	1-2ショート	+3.3V
	3-4ショート	+5V
	5-6ショート	+12V

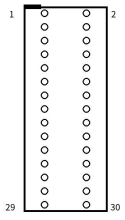
映像出力：LVDS

マザーボードには2×15ピンのLVDS映像出力ヘッダーが1個あります（ピンピッチ：2.00mm）。
定義は次のとおりです。

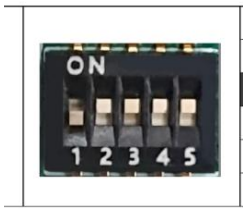
図	ピン	定義	ピン	定義
	1	LCDVDD	2	LCDVDD
	3	LCDVDD	4	NC
	5	GND	6	GND
	7	LVDS_A0-	8	LVDS_A0+
	9	LVDS_A1-	10	LVDS_A1+
	11	LVDS_A2-	12	LVDS_A2+
	13	GND	14	GND
	15	LVDSA_CLK-	16	LVDSA_CLK+
	17	LVDS_A3-	18	LVDS_A3+
	19	LVDS_B0-	20	LVDS_B0+
	21	LVDS_B1-	22	LVDS_B1+
	23	LVDS_B2-	24	LVDS_B2+
	25	GND	26	GND
	27	LVDSB_CLK-	28	LVDSB_CLK+
	29	LVDS_B3-	30	LVDS_B3+

CH7513搭載時のeDP予約機能

LVDS端子でeDPを選択した場合の定義は次のとおりです。

図	ピン	信号名	ピン	信号名
	1	LCDVDD	2	LCDVDD
	3	LCDVDD	4	GND
	5	HPD	6	GND
	7		8	HPD
	9	EDP_TX1N	10	EDP_TX1P
	11	EDP_TXON	12	EDP_TXOP
	13	GND	14	GND
	15	EDP_AUXN	16	EDP_AUXP
	17		18	
	19		20	
	21		22	
	23		24	
	25	GND	26	GND
	27		28	
	29		30	

SW1：LVDS解像度設定用GPIO DIPスイッチ（下図参照）

DIPスイッチ設定図				
GPIO1：5	ON 1 2 3 4 5 0 0 0 0 0 シングル6bit 800×600	ON 1 2 3 4 5 1 0 0 0 0 シングル8bit 800×600	ON 1 2 3 4 5 0 1 0 0 0 シングル6bit 1024×600	ON 1 2 3 4 5 1 1 0 0 0 シングル8bit 1024×600
GPIO1：5	ON 1 2 3 4 5 0 0 1 0 0 シングル6bit 1024×768	ON 1 2 3 4 5 1 0 1 0 0 シングル8bit 1024×768	ON 1 2 3 4 5 0 1 1 0 0 シングル6bit 1280×800	ON 1 2 3 4 5 1 1 1 0 0 シングル8bit 1280×800
GPIO1：5	ON 1 2 3 4 5 0 0 0 1 0 シングル6bit 1366×768	ON 1 2 3 4 5 1 0 0 1 0 シングル8bit 1366×768	ON 1 2 3 4 5 0 1 0 1 0 デュアル6bit 1280×1024	ON 1 2 3 4 5 1 1 0 1 0 デュアル8bit 1280×1024
GPIO1：5	ON 1 2 3 4 5 0 0 1 1 0 デュアル6bit 1440×900	ON 1 2 3 4 5 1 0 1 1 0 デュアル8bit 1440×900	ON 1 2 3 4 5 0 1 1 1 0 デュアル6bit 1920×1080	ON 1 2 3 4 5 1 1 1 1 0 デュアル8bit 1920×1080
GPIO1：5	ON 1 2 3 4 5 1 1 1 1 1 EDP	例：  	ON 1 2 3 4 5 1 0 0 0 0	

保 証 書

この製品は製品到着日より 1 年間、その品質を保証致します。保証内容につきましては下記の保証規定によります。
下記に必要事項を記載の上、大切に保管してください。

商品名：15.6型産業用タッチパネルPC ファンレスタイプ A15

購入年月日：

購入サイト名：

注文番号：

氏名：

住所/電話番号：

保証規定

【保証対象】

・保証の適用対象は製品本体に限られます。製品にプリインストールされた OS やソフトウェア、各ハードウェアのドライバーが起因 となった不具合に関しまして保証対象外となります。

・お客様のデータやインストールされたソフトウェア等に関しましては保証対象外となります。

【保証期間】

① 初期不良期間

・製品到着日より 1 ヵ月間となります。初期不良期間内における製品の不具合につきましては、弊社負担（着払い)にて製品を 弊社にお送り頂いた上で修理または代替品の発送を致します。

② 保証期間

・製品到着日より1年間、通常使用において不具合が発生した場合は、無償で修理し、お客様へ返送致します。

・通常使用中に液晶画面に輝点が5個以上、または暗点が6個以上発生し、弊社で症状を確認できた場合は、保証期間内の保証対象とします。

③ 保証期間外

・無償保証期間外の製品の修理に関しましては有償となります。その都度、不具合内容により修理費用をお見積り致します。尚、 弊社への製品発送費用はお客様ご負担（元払い)になります。

【保証適用除外事項】

・下記の場合は保証期間内であっても保証適用外となり、修理を依頼される場合は有償となります。

・保証書を紛失された場合や購入履歴（購入サイト名、注文番号）が確認できない場合。

・OS やソフトウェア、ドライバー、ウイルス、BIOS 等、ハードウェア以外に起因した不具合。

・取扱い上の不注意による破損や故障。

・火災・地震・水害・落雷・天災地変等により生じた破損や故障。

・譲渡、転売、オークションや中古販売等、弊社直営のサイト以外で製品をご購入された場合。

・修理、代替品のご対応は日本国内のみ対象となります。

販売元： 株式会社真善美 （カブシキガイシャ シンゼンビ）
連絡先：〒369-0113 埼玉県鴻巣市下忍３８５２－１
TEL：048-577-6612 FAX：048-577-6613
営業時間：9：00～18：00 （土日祝日、弊社休日を除く）
E-mail: service@shinzenbi.jp